授業科目	精神障害リハビリテーション論					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	笠　修彰						
授業概要	本講義では、まず精神障害リハビリテーションの歴史的背景、概念について解説する。その上で、精神障害リハビリテーションの基本原則やプロセス、さまざまな方法等を学び、精神保健福祉士の役割について理解を深める。また、精神障害リハビリテーションプログラムと精神障害リハビリテーションの実施機関の関連について解説する。						
授業形態	講義			授業方法	グループワークやディスカッションを取り入れる。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	①精神障害リハビリテーションの歴史的背景、概念を理解できる。 ②精神障害リハビリテーションのプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解できる。 ③精神障害リハビリテーションのプログラムの知識、実施機関を理解できると同時に援助場面での活用をイメージできる。
理想的レベル	標準レベルに加え、本科目で学習した知識について、援助場面での活用をイメージし、具体的な展開を考えることができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト		
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	20%	授業に臨む姿勢や態度、積極性、参加意欲等

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21302J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
テキスト、配布資料をもとに授業で学んだことを振り返るとともに、授業外で調べたこと等をノートにまとめる。	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	精神障害リハビリテーションの歴史的背景、理念と定義
第 3 回	医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーション
第 4 回	精神障害リハビリテーションの基本原則
第 5 回	精神障害リハビリテーションとソーシャルワークの関係
第 6 回	地域及びリカバリー概念を基盤としたリハビリテーションの意義
第 7 回	精神障害リハビリテーションの構成及び展開

第 8 回	精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割
第 9 回	精神障害者リハビリテーションプログラムの内容と実施機関① 医学的リハビリテーションプログラムについて学習する。
第 10 回	精神障害者リハビリテーションプログラムの内容と実施機関② 職業的リハビリテーションプログラムについて学習する。
第 11 回	精神障害者リハビリテーションプログラムの内容と実施機関③ 社会的リハビリテーションプログラムについて学習する。
第 12 回	精神障害者リハビリテーションプログラムの内容と実施機関④ 教育的リハビリテーションプログラムについて学習する。
第 13 回	精神障害者リハビリテーションプログラムの内容と実施機関⑤ 家族支援プログラムについて学習する。
第 14 回	精神障害当事者や家族を主体としたリハビリテーション
第 15 回	依存症のリハビリテーション、まとめ
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『精神障害リハビリテーション論』中央法規
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書、教材等については、授業のなかで紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	課題に関しては、次の授業の際にポイントを整理しフィードバックを行う。
学生へのメッセージ・コメント	受講にあたっては、2 年次までに履修できる精神保健福祉士指定科目を履修済みであることが望ましい。 授業の理解をより深めるために、必ず事前に教科書を一読しておいてください。 日頃から新聞やニュースなどに親しむことを通して、精神保健医療福祉を取り巻く現状に実践的関心を持つよう努めてほしい。